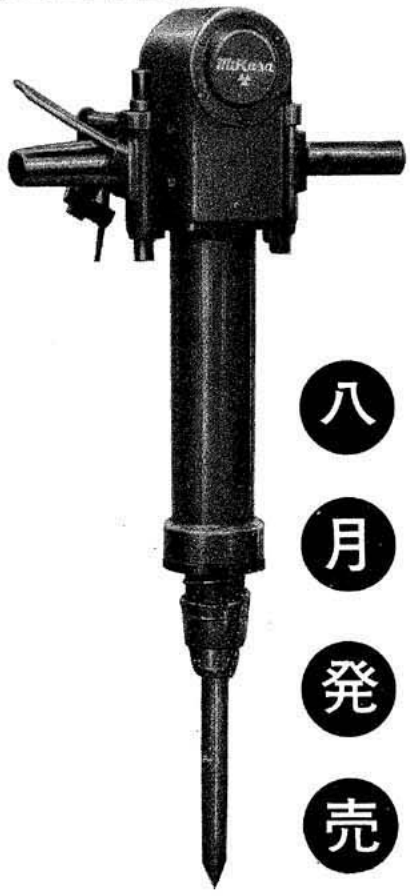
三笠産業ニュース

発行所
東京都千代田区猿楽町 1-4-3
三笠産業株式會社
電話 東京03(292)1411 大代表
テレックス 222～4607
郵便番号 101番
PR旬報　年4回発行

コンクリート油圧式ブレーカー

八月発売



大阪建設展と新潟建設展で

大好評

このたび弊社が四十四年度の新製品として開発したMOB＝32型油圧式コンクリートブレーカーに就きましては、その後、日本建設機械化協会関西支部主催の大阪展と、同協会北陸支部主催の新潟展とに出品したところ、俄然入場者の注目を集め、特に業界人の共感を呼んで、多大の期待が寄せられ、実演中は多数観覧者の讃辞を浴びて両建設展共頗る好評を博し、大いに面目をほどこしました。

本機は、油圧時代にふさわしい、世界でも最初の油圧駆動によるコンクリート破砕機で、強力な破砕力と従来この種のブレーカーに於て、最も欠点とされていた不快な騒音を見事に解消して、僅かに低い打撃音だけで作業が出来るようになりました。その上写真のように本機全体が、軽くこじんまりとコンパクトされているので、セットしたまま、パワーユニットにホースを輪にして乗せれば、どこえでも容易に持ち運びが出来ますから大変ご便利です。

それに構造も又簡潔で、主要部には総て特殊鋼材を使用して、頑丈に作られてありますから、摩耗度が少なく、殆ど故障の心配はありません。

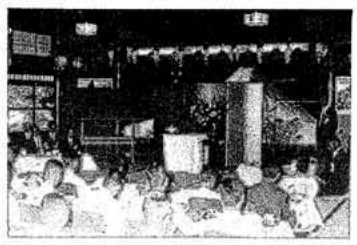
尚本機は、去る五月開催された東西両地区三笠代理店会（3頁掲載）に於ても発表され、西部地区は、大阪展内弊社展示場、東部地区は、沼津市片岡屋代理店内展示場に於て、それぞれ実演して、おご批判を仰いだところ、何れも興味深くこれをご覧になり、多大の共感を寄せられると同時に本機のご販売には極めてご自信に満ちたお力強いお言葉を賜りましたので、弊社はここに最初の予定通り八月上旬を目途に発売する運びとなった次第でございます。

（ホースを輪にしてコンパクトしたパワーユニット）

ブレーカーの質疑応答

吉田技術部長の説明要旨

東部三笠代理店会懇談会席上より



（懇談会に入るに先だち挨拶する京谷社長）

（何故ブレーカーに油圧方式を採用したか）

先ず第一に騒音の問題です。一般に使われているエア式のブレーカーは、音が大きくて市街地の密集した現場作業には適していないように思われます。油圧の場合は打撃音だけですが、エアの場合は排気音と打撃音が同時に出てきますので遠くで聞くと大分違います。

二番目に油圧ですと小馬力で、しかも大きな打撃力を出すことが出来るし又コンパクトにまとめることが出来ます。しかも力率が良く八五％の動力を伝達することが出来ますので有利であります。

三番目にエンジンブレーカー等は本機にエンジンが直結になっておりますので故障が多いように見受けられます。それに比べて、強靱でしかもショックに強い油圧モーターはギヤー式で約四千時間位の耐久度を持っております。

第四にブレーカーの工事現場に行きますと、ヘッドからの排気がホコリを巻き上げ騒音といっしょになって作業者に大きな害を与えていることです。そこへいくと油圧の場合は排気がありませんからトンネルの中などの他、多目的に使用することが出来ることになります。

五番目には、油圧のパワーユニットを装備している重機械、例えばブルドーザーとかショベル等に油圧ホースをジョイントすることが出来ますので、アタッチメントとして持っていると大変便利かと思います。

以上申し上げました事が大きな利点で御座います。

次にブレーカーヘッドの構造を説明しますと、油圧ポンプから送られてきた油で油圧モーターを廻しスプリングシリンダーをクランクで往復運動に変えてピストンにスプリングで加速度を加えブレーカースチールの頭を強く打たせる構造になっております。ブレーカーヘッドの重量は約三十二kgあり、一分間に約千回打っております。又ハンドルには防振の為めにスプリングが入っていて反動を少なくしてあります。これはハクロー病等の心配もなく又強いショックが体に伝わりませんので疲労が少なくてすみます。また、これに使用しているチーゼルは直径30㎜で、シャンクの長さが区々なため市販のものを加工して取付けてありますが、シャンクの長さが87㎜のものならば、その儘使えます。

打撃力はCB三〇と比較した場合約三割程時間をかければ同じようなことが出来ます。

パワーユニットには八馬力の2サイクルバーチカルエンジンが取付けてあり使用時には約四・七馬力の負荷がかかり馬力に余裕をもたせてあります。又エンジンの騒音を消す為めに大きなサイレンサーが取付けてあります。

オイルタンクには五〇立のタービン油が入っていて油圧ポンプはこの中につかっており、毎分二八立―三〇立の油を送り出しております。その時の油の圧力はリリーフバルブで六〇Kに押えてありブレーカーヘッドについているオイルモーターの回転数を常に一定に保つようにしてあります。パワーユニットには持運びの時にホースが巻きつけられるようにしてありブレーカーヘッドも輸送中に落ちないようにクランプが取付けてあります。

油圧ホースは取りあえず内径十二・七㎜で七米つけてありますがこのパワーユニットを使った場合圧力の都合で二〇米迄長くすることが出来ます。

ブレーカーヘッドもパワーユニットも構造が割合に簡単に出来ておりますので故障が少く修理も簡単に出来ます。

（構造図の前で説明する吉田技術部長、その隣は小林館林工場長）

（熱心に質問を浴びせる代理店会の方々）

質問者側
柴田貞一氏（日本機材工業㈱専務）
小山健三氏（本間物産㈱営業部長）
石井宰夫氏（石井商事㈱専務）
上島敏男氏（双葉工業㈱飯田営業所長）
川上時雄氏（㈲菅長　営業係長）
安藤盛弘氏（親和機械㈱常務）
福島政行氏（日本機設㈱営業部長）
奥原昌彦氏（双葉工業㈱常務）
上条純敬氏（フジヤ機工㈱専務）
松井重雄氏（大興産業㈱社長）

応答者側（三笠産業）
吉田常務、京谷専務、京谷社長、星野次長

柴田専務　ホースが二十メートル位に延ばせないか、七メートルホースで果して五〇〇kgの衝撃力があるのか。

吉田　いずれも耐久試験でOKが出ている。

柴田専務　ホースを三十米位まで延ばした場合、かなりの回転が落ちると思うが

吉田　ご指摘の通り回転が落ちて、能力の低下が見られる。そこでどうしても延長する場合は、ホースを太くするより外はない。しかし二十メートル位までが妥当だと思う。

柴田専務　油圧モーターの温度の上がるのを防止することを考えているか。

吉田　検討しているが現在のものでも連続三時間、七五度までの耐久試験を積んでいるので大丈夫である。

小山部長　カタログと三笠ニュースの仕様が違うが、どちらが正しいのか。

吉田　それは三笠ニュースの方がミスプリントで、カタログの方が正しいから、ご訂正願いたい。

京谷社長　販売価格は、どの位いが適正と思われますか。

石井専務　携帯用鑿岩機で三六万～三八万なのだから同価格程度のものではどうだろうか。

上島所長　価格は石井専務と同意見であるが、四〇万を越えるのであれば、スタンドのようなものをつけるなどして更に工夫を考えて欲しい。

川上係長　ブレーカーヘッドのみの価格はいくらか。

京谷　暫定で一五～一六万位と思うが、細い点に就ては目下検討中である。

安藤常務　原動機をモーターにした場合を考慮しているか。

吉田　モータータイプも検討している。勿論可能である。

川上係長　ゴム握りをハンドルにもつけたらどうか。

吉田　それも是非検討してみたい。

安藤常務　ヘッドの重量をもう少し軽く出来ないか。

吉田　出来るだけ軽くしたいのだが、構造面からも性能上からも無理な点があるので検討している。

福島部長　下部に重量のバランスがいくようにしたらどうか。

吉田　重心を下におくよう考えているので、今暫らく検討の時間が欲しい。

福島部長　油圧ホースの長さを七メートルから二〇メートルにかえる場合もあると思うが、七メートルと二〇メートルとを使い分けすることが出来ないような話を聞いたがその点どうか。

吉田　使い分けは出来ないことはないが、セットするときに砂やゴミが入る可能性が高いから、一本で使用するようにして貰いたい。余り長くすると油圧式の良い点が生かされないので、尚検討して、妥当な長さを決めたい、一〇メートル位が適当ではないかと考えている。

奥原常務　ブレーカーで率の良い圧力は五〇～六〇kgであるが、油圧ホースを二〇メートルにした場合はどうか。

吉田　その点余裕をとってあるので問題はない。

奥原常務　エンジンを横に使用しているが、故障率や耐久性の点はどうか。

吉田　最近横に使用するケースは、他にもありその点別に問題はない。

上条専務　油圧ホースが破損した場合、現場で修理出来るか。

吉田　市販品を使用しているので問題はないが、セットする時に砂やゴミが入らないよう注意して欲しい。

松井社長　このブレーカーをもとに鑿岩機に使用することを考えているか。

吉田　将来のことだが検討してみたい。

星野　いろいろと貴重なご意見やご質問を頂戴してまことに有難うございました。これでブレーカーに関する討議を打切りまして引続きバイブロコンパクターに移りたいと思います。

2S型バイブロコンパクターに就て

今迄の我が社の2型コンパクターは輾圧力に主体をおいて製作してきましたが最近この種の小型コンパクターは輾圧効果よりむしろ表面仕上機用として走行スピードの早いものを要求されるようになりましたので従来の型を中止致しまして本機を開発した次第でございます。

構造を簡単に申し上げますと、従来のものは2軸偏心上下振動方式をとっておりましたが、本機は1軸偏心高振動方式に変え振動数を6000VPMに上げ振巾を1・5㎜に致しました。重量は40kgで運転中は非常に軽く指一本で前後に誘導させることが出来、恰も鍍でならすような操作が出来ますのでアスファルトの仕上には至極便利です。自走力は毎分二〇米あり、この時の輾圧力は約一・五トンあります。高速振動の為めに奥原常務エンジンを横に使用しているが、故障率や耐久性の点はどうか。

吉田　最近横に使用するケースは、他にもありその点別に問題はない。

上条専務　油圧ホースが破損した場合、現場で修理出来るか。

吉田　市販品を使用しているので問題はないが、セットする時に砂やゴミが入らないよう注意して欲しい。

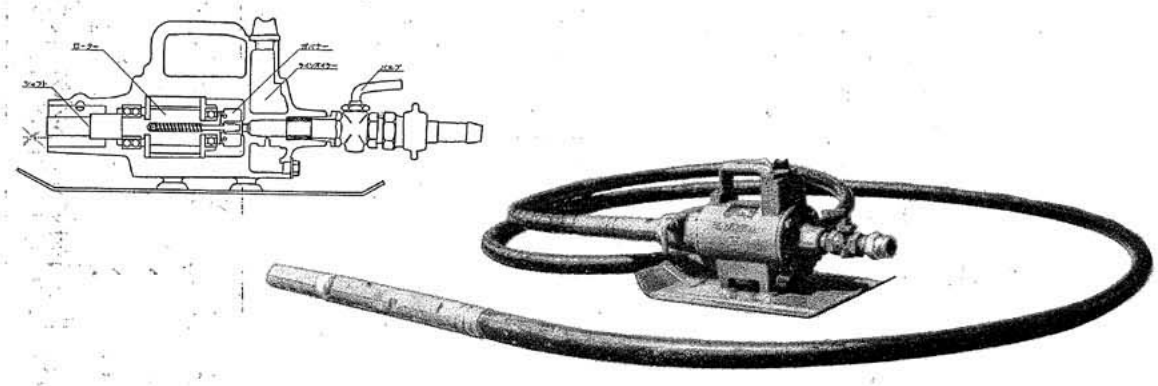
松井社長　このブレーカーをもとに鑿岩機に使用することを考えているか。

吉田　将来のことだが検討してみたい。

星野　いろいろと貴重なご意見やご質問を頂戴してまことに有難うございました。これでブレーカーに関する討議を打切りまして引続きバイブロコンパクターに移りたいと思います。

（以下質疑省略）

錐振型フレキ式エアバイブ 完成（新製品）



本機はエアコンプレッサーを利用してガバナ装置を有する強力なエアモーターを常に三〇〇〇回転になるよう制御し、それに錐振型のシャフトセットを連結して、コンクリートの締固めを完全に行なうものです。

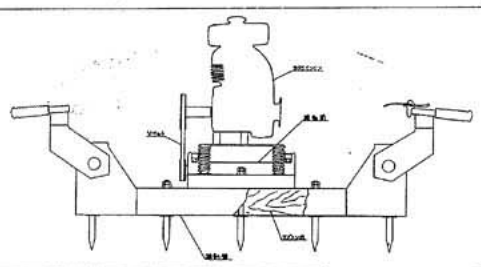
このエアモーターは最新の技術により開発されたものでコンパクトにまとまり、ラインオイラー等も内蔵されていて空気消費量も毎分〇、八立方米と少なくてすみ極めて優秀な性能を持っております。

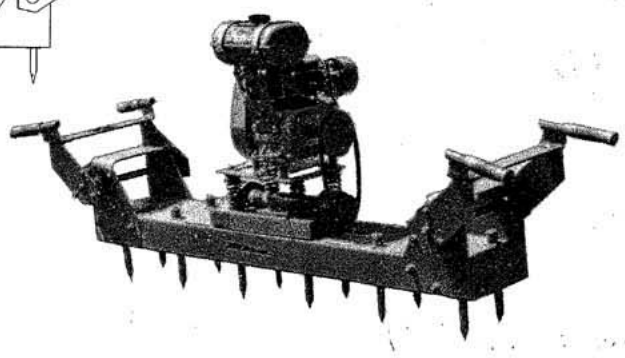
これに錐振型のシャフトセットを連結し、エアコンプレッサーを利用して、エアモーターを回転させることにより、理想的なコンクリートの締め固めが出来るようになっています。

シャフトセットは、既に錐振型のモーターにもエンジンにもご使用されて、ご好評をいただいているもので振動筒のサイズは32型、45型、60型の三種があり、シャフトの長さは四米が標準ですが、六米のものも製作致しております。

平面バイブ改良

弊社は今迄フレキ式と直結式の各種平面振動機を造って参りましたが今回フレキ式のものを止めてその代りにフレキ式と直結式の長所を生かした新型直結式平面バイブレーターを開発致しました。この改良に依る主な特長は締め固め効果及作業能率は勿論のこと、これ迄の鋼板のみの振動盤と違い、更に強靭性を持たせるため、内部にアブトン材を入れて剛体にしましたので、これにより振動が振動盤全体にむらなく行きわたって、作業能率が良くなったばかりでなく鋼板の振れから出る大きな振音が無くなり長時間運転しても全く疲労を感じません。従って、今迄製作しておりましたフレキ式のものは、製造を打切りましたからご諒承願います。





（主要寸法）

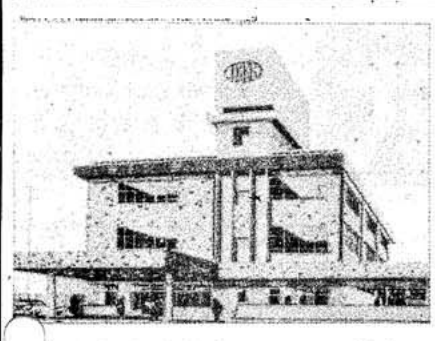
型式	直4型
振動盤の寸法	長サ 1.2m
	巾 235m/m
	厚サ 95m/m
使用エンジン	3PSミカサ
概重量	86.7kg

○鉄建工機（株）本社々屋新築落成

日時　六月十五日午後一時
場所　長岡市高見町十一ノ一

越後の山々は新緑に包まれ、夜来の雨は、雲一つだに残さず晴れ上って、ここ国道八号線添いに新築された鉄建工機さんの本社々屋は、今日の落成式を迎えて、数百の花輪に囲まれ、華やかな色とりどりの小旗や紅白の幔幕に張り巡らされて朝から祝い客が場外に溢れ、その落成式風景は、正に同社の隆昌振りを眼のあたり見るの感がした。

四階建の本社建物は、七三〇平方米の近代的ホテル風のスマートな社屋、それに修理工場、倉庫等合せて七〇〇平方米ほどもあって、総面積五、〇〇〇平方米の広大な敷地に、各メーカーから重機械を始めその他の汎用機も沢山に展示されて、この間の新潟展を再現させたような盛観を呈していた。



（右は小師社長左は本社々屋）

落成式は、倉庫内に設けられた会場に於て午後一時から凡そ三〇〇名の関係者を招いて土田専務司会の下に始められ、来賓を代表して地元出身の自民党幹事長田中角栄氏、小林長岡市長、山口商工会議所会頭及びユーザー側から藤木組植木副社長、メーカー側から石川島播磨重工他数社の祝辞があり数々の祝電が披露されて盛況を極めた。

当社からは京谷社長が出席して他社と共に祝詞を述べ荻本係長も同席した。

落成式終了後、午後二時から本社々屋内に於て祝賀パーティが開かれ、午後五時より上田町青木楼に於て盛大な祝賀会が催された。

尚、同社敷地内の展示会は、翌十六日から十八日まで、三日間開催されることになっており、当社からは新潟展の飾付をその儘同社へ移動してこれに参加した。当日早やくも、わが社のバイブレーションローラー等に売約済の札が張られ、その前景気も仲々活気溢るるものがあった。

—荻本報—

（本社々屋内に於ける盛大祝賀なパーテー）

近代的な施設を誇る 館林市民体育館竣工

昨年十月着工した館林市民体育館（市公民館隣接地）の竣工式が五月二十一日午後二時から同所で盛大に挙行され、当社より京谷社長及び小林館林工場長が列席した。

同体育館は河本工業の施行で建設され、鉄筋コンクリート造り延べ面積一、四五六平方メートル、本館内正面には間口二四メートル、奥行六メートルのステージ、二階は四百人収容の観覧席となっており総工事費六、三五〇万円で、竣工後早やくも六月十日、十一日の二日間関東高校レスリング大会が挙行された。

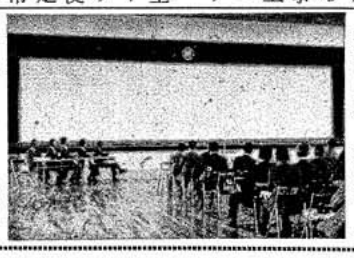
今夏八月、群馬県下を主会場に行なわれるインターハイ（高校総体）のレスリング会場として使用される事が決定しており、遠藤市長は竣工式の挨拶の中で「その時には当地ゆかりの美智子妃殿下に是非ご臨席願うつもりで県知事が直接東宮御所の方へお伺いを立てている処です。」と述べて注目された。何れにもせよ本館の竣工は、市民体育の健全育成とスポーツ振興の殿堂として今後の活用が望まれている。

わが社では正面ステージに、松坂屋調整の緞帳を寄贈して祝意を表した。

尚、遠藤市長より体育館の建設にあたり特別な援助を寄せられた方々に対し、感謝状が授与された。

—小林報—

（竣工した館林市民体育館）

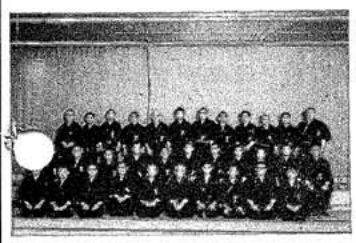


（ステージ正面、我が社から贈った緞帳）

第十二回 笠友会総会開く

四月十五日ホテル大佐渡にて

三笠の協力工場その他に一等船室に陣取る。この船依り組織されている親睦団で道中三時間とは思いやら体の本年度の総会を佐渡でれる。九時三十分直江津港開くことになり、四月十四出港、だれかが休憩の時、日三十五社の参加をえて二アルコールをきかして寝る十三時五十八分発妙高四号事だとの話をしていたの寝台車で出発。翌朝七で、その説に従い幹事がウ時二十五分直江津に到着、イスキー、ビール等用意し一同駅前の山崎屋旅館にて船室に持込み皆なにすすめて朝食休憩を取り、貸切バスていた。港外に出たのにて直江津港に向う。丁度か、揺るやかなローリング十五、十六日は佐渡の島開が始まる、すでに横になっきとの事で直江津港にも ている人が七、八人いる。二、三の団体客が乗船を待その内沖に出たのか左右上っている。これから小木港下の揺れ方が劇しくなる。迄の所要時間は約三時間、時計を見ると、まだ一時間沖から小木港行の船が入港以上ある。ついにダウン。してくる、接岸終了、一同ふと眼が覚めると、はや小木港内に入っていた。外は生憎の雨前方の埠頭には女子高校生のブラスバンドが緩やかなメロデーを奏でて吾々一行を迎えてくれる。船員が団体客の代表者に花束の贈呈がありますからと伝えてくる。笠友会では、京谷社長が代表することになり、船は接岸し一同下船いよいよ待合室で、振袖姿の可愛い少女より花束が贈られる。まことに和やかなひとこまであった。



（ホテル大佐渡の宴会場にて）

宝屋旅館で、昼食を取り十三時三十八分発の貸切バスで、真野陵へ、やがて一時間二十分で、真野陵に着く順徳天皇が承久の乱に敗れて北条義時のために佐渡へ流され、在島二十二年の後、島でなくなられた、その火葬塚を真野陵と呼んでいるのだとの事である。誠に質素な感じを受けた。約十五分にして阿仏坊日宣の妙宣寺へ。雨の為、六、七名しかお詣いりに行かず誠に寂しい限りである。妙宣寺を後に一路相川町へと出発途中、佐渡博物館を見学、七浦海岸を見物して、本日の宿泊所ホテル大佐渡へ十五時十分到着、ただちに総会を開き、今年度の会の運営に就いて懇談、これが終ると一同一風呂浴びて懇親会に入る。やがて綺れい所のねえさん連や宿の女中さん達の踊りが入り中々の賑い、雨天の為、観光会館で、島開きのお祝の催し物があるとの事で一同宿のバスで会館に向う。舞台では佐渡の有名な民謡佐渡おけさ、相川音頭、相川甚句など次々と披露されて盛大である。佐渡の民謡は何れも、曲詞ともに格調高く、情趣の深い点では、抜群であると思った。翌朝八時三十分ホテル大佐渡を出発し相川鉱山へ向う。かつて徳川幕府の台所をささえ絢爛たる元禄時代に黄金の花を咲かせた佐渡相川鉱山。山頂から一刀両断にしたような露天坑の断がいのあとや、あちこちに人間がひとりしゃがんで、やっとはいれるような、狸堀と呼ばれる原始時代の発堀あとのほら穴が、あちこちに無気味な口をのぞかせている。新聞で、すでに発表された通り、これ迄の三倍の高品位の新しい金脈を発見したそうで、相川町も活気を呈して来たとの事、かって人口十万を数えたと言われる元和元禄のころの様に佐渡へ佐渡へと草木もなびくかどうか、金山を後に達者へと急ぐ、観光船にて尖閣湾を見物、日本海の荒波に洗われ段丘の頂上が尖閣の集合のようなので、この名があるの。荒波の上を渡って吹きつける風が肌にしみ、皆な十分にて揚島へつき両津港へと急ぐ、十一時四十五分両津港着、十二時三十分発新潟港行大佐渡丸に乗船、二日間にわたる伝説の島、佐渡を後にした。さすが佐渡汽船が誇る豪華船大佐渡丸は昨日就航したばっかりとの話、来た時の直江津からの船に揺られた思いがうかんでくる、海上も今日は静かなのか、打って変って、ローリングもなく無事新潟港へつく、再たび貸切バスにて弥彦神社へ参拝。一路長岡へ、一同長岡発十八時四十九分特急とき号にて帰路につく。

—川口報—

（尖閣湾の遊覧を終えて）

山陽新幹線博多へ延長

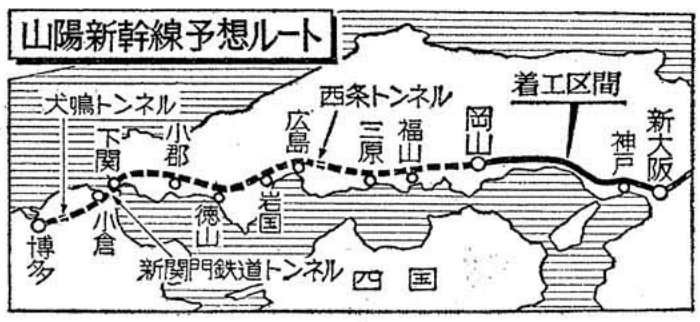
本年度中に着工、五十年三月開通

先月の新聞発表によると、国鉄では、愈々山陽新幹線の大阪—岡山間に次ぐ、岡山—博多間の延長工事を本年中に着工すべく、その認可を運輸大臣に、申請したとのことである。

その計画によると、延長区間は四百キロ、工費約四千八百億円で、工期は六年、東海道新幹線の五百十五キロの建設費三千八百億にくらべると、大分工費が嵩むが、その工費の高い理由は、広島の十数キロに及ぶ西条トンネルとこれも十数キロの関門海底トンネルをはじめ、トンネルの数の多いうえに工事費の値上りにもよるとのことである。

現在大阪—岡山間百六十五キロの山陽新幹線工事は、工費千七百億円をもって、四十七年三月を完成目標に工事を急いでおり、今度の延長工事は、この完成を待たず、これと並行して進められるもので、五十年の春には完成させたいということである。

この全線が開通すると、時速二百十キロの新幹線電車が、東京—博多間を現在の十五時間から一挙に六時間半で突走ることになり、大阪—博多間は、僅か三時間半ということになるから、正に夢の超特急という言葉以上のスリルを味うことが出来るわけである。



× × ×

2S型バイブロコンパクター 八月発売開始

大阪展

自 五月十日
至 五月十八日

主催　日本建設機械化協会大阪支部
場所　大阪市港区魁町弁天町駅前広場

日本建設機械化協会関西支部主催の第九回建設機械展示会が関係官庁後援のもとに、昭和四十四年度のトップをきって、五月十日から十八日までの九日間、大阪市港区魁町、国鉄環状線弁天町駅前で開幕された。

出品メーカーは八十八社にのぼり、入場者数も会期を通じて延べ十三万四千人を数え、前回昭和四十二年度の時よりも三万七千人も増加する盛況であった。

各メーカーもそれぞれ新製品の開発に力を入れているのであろうが、特に真新らしいというようなものもなく、重機関係では大型化が目立ち、また油圧化という点をPRしているロードローラーやパワーショベル等が目についた程度であった。最近産業公害として建設現場の騒音等が指摘されているが、そのような点に留意した製品は全くなく、当社が出品した油圧式コンクリートブレーカーは持運びの簡易さに加え、騒音を低くした点では大いに意を強くすることの出来る製品であった。

小型ローラーは、国産のハンドガイド型としては当社の他にR社、M社のみであったものが、D社で新製品を出し、又S社では、新らしくドイツのものを輸入販売するというわけで、従来のドイツの輸入品を加えると五社となり、今後技術的にも販売的にも競合が激しくなるものと思われる。

（展示会場に一際異彩を放つ三笠の展示場）

当社としては、関西地区総発売元三笠建設機械㈱の協力を得て、先に述べた、新製品の油圧式コンクリートブレーカー及び2S型バイブロコンパクターをはじめとして、80型、120型各タンピングランマー、標準型及び錐振型各サイズのバイブレーター、10型、12型振動ローラー、3型コンクリートカッター、8型ハンドカッター等三笠の主力製品を一気に展示した。

特に新製品の油圧式コンクリートブレーカーと、2S型バイブロコンパクタは注目を集めた。

コンクリートブレーカーについては持ちはこびが容易に出来る点、及び音が比較的小さいということで特に好評を得た。ブレーカーへッドだけでも重機の例えばバックホー等又は電設工事用の特装車等の油圧源からひきたいというお話も四、五社からあり、実際になると細い点でプレッシャーの調節バルブをつけたり、ジョイント部に特殊な工作をしなければならないが、根本的には可能であるとお答えして置いた。

ブレーカーの打力を見て貰うためにコンクリートブロック四十糎厚のものを四個用意したが、毎日の実演で総て破壊して、その能力を証明した。

2S型バイブロコンパクターは展示会場小間内に砂利を十五糎厚さに敷き、その上を輾圧しながら回転できる運転装置をつけて展示したところ、この動いているということで大いにお客の目をひき、輾圧速度の早らしくドイツのものを輸入いことと、仕上面のきれいさとが相まって効果的なPRができた。この2S型コンパクターは高速高振動で極めて好調であった。

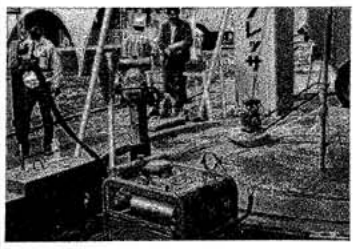
ハンドカッターは未だご存知ないお客も多く、よく実演を所望された。また機械を手にとって珍らしそうに眺める人もいて、まだまだPRの必要を感じた。

当社の製品は小間内で運転出来るものが多いので、実演するということは大切なことで、その実演も、2S型コンパクターのように簡単な運転装置をつけてみることも面白い方法である。最近は人手不足で、省人化ということに興味があるとみえ、2S型コンパクターの運転装置はいくらするかと真面目に尋ねるお客もあった。

五月十三日は西部地区代理店会の方々及び当社より京谷社長、京谷専務、吉田常務、小林、長谷川両工場長、三笠建設機械より小野社長、小野常務、安部部長はじめ大勢代理店の方々が来場されて、新製品の実演説明が行なわれた。これらの新製品は、この大阪展で、当社としては、初めて公開するわけで皆熱心にご覧戴き、また貴重なご意見も頂戴することができた。われわれとしては発売のあかつきには充分ご満足の戴ける製品にすべく、これらのご意見を元にして、更に研究を重ねてゆきたいと思っている。

来年に開幕を控える万国博、山陽新幹線、本州と四国連絡道路等、目ぼしい建設事業は数指に余るが、これに附帯して周辺の工事や整備等が行なわれるであろう。従って、建設機械の需要も今後益々伸びていくことであり、このような背景の中で開かれた今回の建設展は実に活気があって有意義であった。

—磯部報—


（展示機械の実演装置を興味深く見入る参観者）

新潟展

自 六月三日
至 六月九日

主催　日本建設機械化協会北陸支部
場所　新潟市鳥屋野一、七九六番地

昭和三十八年に第一回新潟建設機械展が開催されてから、今回で第四回目を迎えた。出品社数四十九社、出品機械約五〇〇点を得て六月三日から九日まで、新潟市内を流れる信濃川のほとりに特設会場（一七、〇〇〇㎡）を設けて盛大に催された。

この北陸地方においては国土開発幹線自動車道のうち北陸自動車道、関越自動車道等の建設、富山、高岡新潟の新産都市計画の推進など、今後の公共事業の莫大な工事量が予想され、これに伴って建設機械の需要もますます大きく期待される現状下に於て催された事は、非常に意義のあることと思われた。

（新潟展に於ける三笠の展示場）

三笠の展示場には、標準型、錐振型の各バイブレーターを初めとして、六ヵ月間保証書付ということで、益々好評を博している80型タンピングランマー及び2型、3型バイブロコンパクター、10型インパクト、12型バイブレーションローラー、型枠用自振モーター等が展示され、特に公害対策基本法の実施に伴い、昨年六月騒音規制法が公布され同年十二月一日より施行された為、今後、市街地に於ける建設工事は、制約を受けることになったので、騒音の低い本年度の新製品であるMOB＝32型油圧式コンクリートブレーカーは多くの観覧者の足を止めた。

これは、三笠が開発した型振動ローラーを出品しはじめたことである。この現象は各都市の狭い路地や歩道の輾圧舗装工事が多くなり、今年はより以上に小型ローラーが注目をあびるのではないかと思われることであった。そこで小型中型のローラーメーカーとして、今日まで或程度確固とした地盤を築いてきた三笠としては、今後、益々デーラー、ユーザーとの交流を密にして、優秀な機械を作り出し、以て社会に寄与せねばならない重責を深く痛感した次第です。

開催中、一日雨に降られたが、あとは天候にめぐまれ、駅前より会場迄無料バスも出ており、観客の入りも上々で大成功だったといえる。

尚初日に、京谷社長と星野次長が来場され、新潟市内の代理店を訪問され、翌四日より酒田、山形、富山、金沢、福井方面の代理店訪問の途につかれた。

又これも新製品であるMVCS＝2S型バイブロコンパクターは従来の型を改良し、作業の能率化を計る為、走行スピードを毎分二〇米に高速化し、軽量でスピーディな走行力が出るので、アスファルトの表層仕上げや法面の仕上げに最適であり、又MHC＝8型ハンドコンクリートカッターで、コンクリート製U字溝を切る実演には三笠ゴールドブレードの切れ味の良さと値段の安いのには驚いて黒山の人だかりであった。

この会期中に感じたことであるが、従来の重機メーカーやポンプメーカーが小型振動ローラーを出品しはじめたことである。この現象は各都市の狭い路地や歩道の輾圧舗装工事が多くなり、今年はより以上に小型ローラーが注目をあびるのではないかと思われることであった。そこで小型中型のローラーメーカーとして、今日まで或程度確固とした地盤を築いてきた三笠としては、今後、益々デーラー、ユーザーとの交流を密にして、優秀な機械を作り出し、以て社会に寄与せねばならない重責を深く痛感した次第です。

開催中、一日雨に降られたが、あとは天候にめぐまれ、駅前より会場迄無料バスも出ており、観客の入りも上々で大成功だったといえる。

尚初日に、京谷社長と星野次長が来場され、新潟市内の代理店を訪問され、翌四日より酒田、山形、富山、金沢、福井方面の代理店訪問の途につかれた。

（参観者の大気を集めた展示機械の実演）

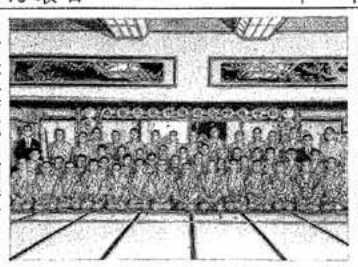
最後に色々お世話になった白勢商事さんに厚く御礼申し上げます。

—営業部・鈴木報—

西部地区　三笠代理店会

五月十三日～十四日
於　京都・京大和

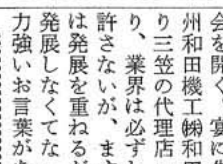
三笠西部地区の代理店会を出品展示している。当日が京都の「京大和」に於て十二時までに各代理店、取引銀行、報道関係の皆さんがお集りになった。あいにくの小雨ではあったが、熱心に新製品の実演を見ては質問をされる方々が引きも切らず、展示場詰の係員も応対に暇のない有様であった。十三時二十分会場脇に待たせてあったバスに一同乗り込んで出発、大阪市内港区の国鉄環状線弁天町駅前広場に於て第九回建設機械展示会が催されて居り、三笠産業はここに本年度の新製品である油圧式コンクリートブレーカー小型コンパクター等をはじめとしバイブレーター、タンピングランマー等々の主力製品を出品展示している。当日十二時までに各代理店、取引銀行、報道関係の皆さんがお集りになった。あいにくの小雨ではあったが、熱心に新製品の実演を見ては質問をされる方々が引きも切らず、展示場詰の係員も応対に暇のない有様であった。十三時二十分会場脇に待たせてあったバスに一同乗り込んで出発、大阪市内を出発し、首都高速道路を通り世田谷より全線開通を三日後に控えた東名高速道路を時速一〇〇キロを越えるスピードで滑るように一行を運んでくれる。


（京大和にて記念撮影）

東部地区　三笠代理店会

五月二十三日～二十四日
於　伊豆長岡・三養荘

午前十一時三〇分本社前をバスで出発し、首都高速道路を通り世田谷より全線開通を三日後に控えた東名高速道路を時速一〇〇キロを越えるスピードで滑るように一行を運んでくれる。

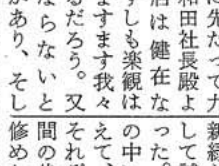

（展望台より丘上の万国博建設現場を望む）

午前十一時三〇分本社前をバスで出発し、首都高速道路を通り世田谷より全線開通を三日後に控えた東名高速道路を時速一〇〇キロを越えるスピードで滑るように一行を運んでくれる。

厚木インターチェンジを降り厚木沼津線から箱根の山岡屋さんに午後二時頃到着。早速、本日のプログラムの第一部に予定された四十四年度の新製品として世界でも始めてのMOB＝32型油圧式コンクリートブレーカー及びMVCS＝2S型バイブロコンパクターの二機種が実演された。特に国産初の油圧式コンクリートブレーカーと言う事が代理店の方々に興味を持たれ、実演も長時間に亘り熱心にご覧頂いた。

会員の中には、自からブレーカーのハンドルを握られて、納得のゆくまでコンクリートブロックを破砕してその性能を試しておられる方もあった。

やがて一行は同社会議室で冷たい飲物の接待を受けて一と休みした後、第二次進行係荻本係長の挨拶で賑やかに第三部の懇親会の幕を開けた。やがて杯の重なるにつれ、何時しか代理店側とメーカー側のお互に胸襟を開いた心と心のしっかりした結びつきはそれからそれへと話に花が咲き、そして歌い合いなどして伊豆長岡の夜はいつ更くるとも果しなかった。


（修学院を見学する一行）

特に最近問題となっている騒音、ほこりの点を大きく取り上げて公害防止に役立たせようとしているわが社の着目のユニークさに注目を集めた。

会議終了後、夜に入って同じ「京大和」に於て懇親会を開く。宴に先だって九州和田機工㈱和田社長殿より三笠の代理店は健在なり、業界は必ずしも楽観は許さないが、ますます我々は発展を重ねるだろう。又発展しなくてならないと力強いお言葉があり、そして今後共西部に期待するところ、洵に大であり、国家的な公共事業もその投資に力を注いでいる現在先行を大いに楽しみにしている。ところが昨年は春から秋にかけて品物の動きが沈滞気味だったため、その反動で晩秋から俄に活発になり、たちまち品不足を生じてしまった。一生懸命ユーザーにPRしてきていざ採用していただける段になって品物がない、ということでは嘸かし皆様もお困りになられたことと思うし、これ程メーカーとしても残念なことはない、今後はこのようなことのないよう心掛けたいと思っている。この意味で皆さんに大変ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げるとの挨拶を行ない。引き続き三笠産業の技術部長吉田常務より新製品（展示会に出品中のMOB＝32型油圧式ブレーカー、新MVCS＝2S型バイブロコンパクター）について技術的説明を行なう。

ここでは主として油圧ブレーカーに質問が集中し、広島宝物産㈱松原副社長殿の音頭で乾杯して祝宴に入った。

例年のことながら我三笠の代理店会には各代理店より百%の出席をいただき、且つ各代理店の社長さん方のご参集を仰ぐことが出来て感謝と喜びと、そして供給するものの責任を痛感せずにはいられない。

宴の最後は名古屋広田機械㈱広田社長殿の音頭により万才三唱でメめていただいた。

明けて十四日は前日と打って変った快晴にめぐまれ親善ゴルフ大会に参加される方々は早朝宿を出発されて田辺国際カントリークラブへと向われた。このゴルフ大会では広田社長が優勝された。

今日は夏を思わせる快晴の空で、修学院離宮観覧組は朝食をゆっくり取って宿を出発。

この修学院離宮は通常一般には公開されていない庭園で、今回特に三笠代理店会のために観覧を許されたもので、その庭園の素晴らしさは、したたるような新緑と天候とがよくマッチして誠に絶景そのものであった。一行は終始和気藹々の中に約二時間の見学を終えて、京都と大阪駅頭にてそれぞれ散会し、この二日間の代理店会を大成功裡に修めた。

—長畑報—

（三養荘に於ける懇親会風景）

この三養荘は風光明媚な広大な庭園と豊かな温泉とに恵まれ、かっては、元財閥岩崎家の別邸として、建築、造園共に京都の巨匠を聘して、入念に時と財を費して造られたものといわれているだけに実に素晴らしい旅荘である。

三養荘に着かれたご一行は旅装も解かずその儘会議室に入られて、第二部の懇談会が開催された。

年一回のお顔合わせとあって緊張した空気の中に会議が進められた。特に今回は三笠が日本で初めて開発した油圧式ブレーカーに代理店会の話題が集中し代理店側から隔意のない突込んだご意見とご質問が次々と出され、説明者の吉田技術部長からもこれ又極めて率直な応答があった。

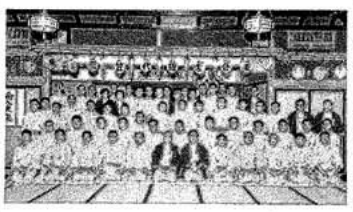
（この懇談会の模様は一頁に掲載）

このようにして別掲の質疑応答が次から次へと続き、期せずしてご一同から一日も早くこのブレーカーの発売をして欲しいとのご要望が強く出されて、終始和やかな裡にこの会合の幕を閉じた。

（片岡屋代理店の会場でコンクリートブレーカーの実演）

さてそれから一風呂あびた一行は一年振りという事ですっかり気持もほぐれ、やがて、四、五人づつ離れに分散されて静かに旅の夢を結ばれた一行は、翌朝早目に起き出でて新緑のもゆる美くしい庭園を散策され、清新な伊豆の空気を心ゆくまで満喫されたようであった。

—堀江記—


（三養荘広間に於ける記念撮影）

（朝の庭園散策）

神奈川県 建設産業展

主催　日本工業経済新聞社
場所　神奈川県厚木土木事務所前広場

常盤工業㈱の協賛の下に行なわれた今回の展示会は、会場が神奈川県厚木土木事務所前広場で、しかも発展途上にある神奈川県県北、そして東名高速道路厚木インターチェンジ、国道246号線と地域的に好条件の揃った場所で開催されたので連日盛況を極めた。入場者は殆ど地元（厚木、相模原、平塚、藤沢）の業者の方々で占めていて、横浜、川崎と地理的遠距離の方々の入場者の比較的少なかったのは稍々淋しかった。

開会中厚木土木事務所に於て入札が行なわれたり、それに時期的にも最盛期に入ったことでもあって、業者の方々も機械の購入意慾が高まっておられたためか出品機械に対して細かく見聞きして下さった。それに地方展示会では見られない重機械から汎用機械、事務機等に至るまで幅広く展示され、その上、展示会場横に重機械の実演場まで設けて場内は連日活気に溢れていた。

我三笠製品に対してもその人気は上々で10型インパクトローラー、3A型バイブロコンパクター、3型コンクリートカッターと並んで、80型タンピングランマーの六カ月保障付が特に観覧者の目を引き、これに加えて8型ハンドカッターを揃えての豪華な出品振りには業者の方々をして三笠製品の幅の広さに感心しておられたようだった。

—宮川報—

武田金物展

主催　㈲武田金物店
場所　長野県中野市大字栗和田二、五六〇
自　四月十二日
至　四月十三日

晴天に恵まれた十二、十三の両日武田金物店主催による建設機械及び一般工具の展示会がおよそ十五社程のメーカー参加のもとに開催された。今年は例年になく、雪が少なかった為、工事着工も早く、一日たりとも暇の無いユーザーの方々に来ていただいた事は本当に有難い事だった。

私達三笠産業の展示場所は入口のすぐ隣りに位置していた事も、幸いだったのか、実演の際など多勢のユーザーの方に見ていただき、熱のこもった質疑応答が繰り返された。初日は大工、板金、左官関係の方が見えられたが、二日目には土建関係の方が多数見え、特にMTR＝80型タンピングランマー、MHC＝8型ハンドコンクリートカッターに人気が集った。MTR＝80型ランマーに関しては従来のジャンプ式ランマーと異り、実際に手にされて、その安定性と輾圧力の優れている点、始動の容易さによって、早速ご注文をいただけたのは本当に嬉しい事であった。同じくハンドコンクリートカッターに於てもU字溝、土管、ブロック等種々切断してお目にかけたがその刃の切れ味や、手軽さには大分驚嘆の声がきかれ、出品した機種のほとんどが売約となった事は、武田金物店の地元に対する強い信頼と自信の賜物だと思った。今後機会あるごとにこのような展示会を、大々的に催し、より一層、三笠製品が侵透していく事を、お願いし、私達もそれに応ずべく、更により良い製品、使い易い製品を開発して皆様のご期待にお添いして行く事をお約束して、このたびの意義深い展示会を成功裡に終了することが出来た。文末ながら武田金物店さんの一層の御繁栄を心よりお祈り申し上げると共に二日間に亘って歩を運んで下さった各ユーザーの方々に厚くお礼申し上げます。

—徳永記—

第六回 全三笠野球大会

4月8日　足利市営球場にて

永年わが社の創立記念日は、八月十日だったが今年から四月八日の本社ビル新築落成の日に改まったので、毎年行なわれていた全三笠野球大会もまた目出度いお釈迦様の御誕生日である四月八日に催すことになった。今年は当番幹事である桜電機の主催で本社チーム、館林工場チーム、桜電機チーム、春日部工場チームの四チームが参加して足利市営球場に於いて行なわれた。

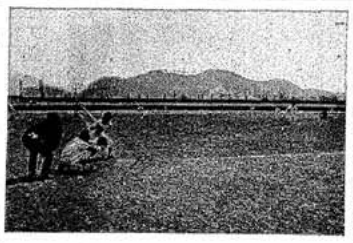
先ず午前十時三笠行進曲のリズムに乗って館林チームを先頭に第一球場に於て入場式が行なわれ、加藤桜電機社長のいつも乍らの力強い開会の辞があり前年度の覇者である館林工場チームとの一戦は第一球場に於て京谷社長の始球式により開始され、一方第二球場では前年度優勝チームの館林工場チーム対絶対に勝つという意気に燃えて盛んに自工場内の広場で練習をつんだ地元桜電機チームとの間で争われた。

第一球場の本社対春日部工場の対戦は頼みとする春日部チーム井上投手のコントロールが意のままにならず、そのため四球が多く、たまたま好球をねらわれては、痛打され、又内野陣の守備の乱れも伴って遂に十三対一のワンサイドスコーアで四回コールドゲームとなった。

一方の第二球場の館林工場対桜電機の試合は戦前の予想通り、第一球場とはうって変り、館林チーム鈴木投手対桜電機チーム佐藤投手との投げ合いと成って一点を取り合う大接戦となった。万一この試合に敗けると三年連続優勝の野望が消え失せることになるので館林工場チームでは、選手は勿論のこと、応援団も一丸となって、試合の一球一打に手に汗を握りじっと息を飲んで試合の成り行きを見守っていた。かたや桜電機チームもこの強豪館林チームの要ともいうべき、鈴木投手を打ち崩して優勝戦に駒を進めんものと全く息詰るような伯仲戦が展開された。それに第一球場の本社対春日部工場の対戦が早く終ったため、その方からの観戦者も加わって益々緊迫した試合となったが流石は経験豊かで試合巧者な館林工場が先取点をとり二対一のスコアーで辛くも逃げ切った。

全三笠野球チーム　足利市球場にて

入場を終った全三笠の四チーム



（本社対館林工場の熱戦）

昼食後、直ちに三位決定戦が敗者同志の桜電機チーム対春日部工場チームによって行なわれ、前試合に健闘した桜電機チームが敗戦にもめげずすっかり元気を喪失した春日部工場チームをたたいて、これを十一対三のスコアーで一蹴した。

さて、いよいよ本大会呼び物の、館林工場対本社の決勝戦が十四時三十分より第一球場に於て本社チームの先攻で戦の火蓋が切って落された。

両チームともこの一戦に総てをかけて勝たんかなの気迫充分、緊張裡に戦いは進められた。

一塁側スタンドには戦い終った桜電機春日部両工場チームとその応援団がこの決戦を見んものと陣取り好打、好守の妙技に拍手と声援が乱れ飛んだ。二回に早やくも本社が二点を先取し、意気大いに昂がると見るや本社側応援団もここぞとばかりに立ち上って、盛んに声援に努めたが、三回裏春日部戦の疲れが出たのか、本社徳永投手が突然コントロールを乱して四球を連発し、これに乗じて適時好打を放った館林チームは、遂にこの回二点を奪回して試合を振り出しにもどしてしまった。

しかし本社チームも対桜電機戦から連投の疲れを見せはじめた鈴木投手に執拗に喰い下がり五回に一点、七回に駄目押しの二点を加え、以後は本社鈴木投手これをおさえて得点させず遂に五対二を以って三年ぶりに優勝の栄冠は本社チームの頭上にかがやいた。

◎一回戦（五回）

本社	1	4	4	3	12
春日部	0	0	1	1	1

四回コールドゲーム

館林	0	0	2	0	2
桜電機	0	0	1	0	1

◎三位決定戦（五回）

桜電機	3	3	5	0	1	12
春日部	1	1	0	1	0	3

◎決勝戦（七回）

本社	0	2	0	0	1	0	2	5
館林	0	0	2	0	0	0	0	2

成績次の通り

終了後京谷社長から選手の健闘をたたえて本社チームに優勝旗と優勝カップ以下個人賞が数多く渡されお互の健闘をたたえ合った。

—炭記—

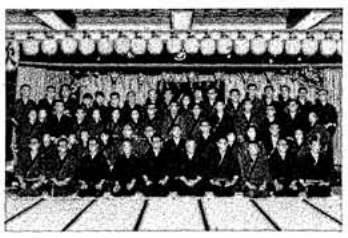
春の三笠親和会

昭和四十四年、恒例の春季三笠親和会は、去る四月二十七日～二十八日の二日間、日光の名瀑と、東照宮、そして、鬼怒川の渓谷を訪れた。先づ、東武浅草駅をデラックスなロマンスカーで出発、初日、二十七日は、その見事な人工美で、世界的に、名高い東照宮におまいりし、普段は、なかなか訪れることのない、奥深い家康公の墓所まで、見学し、その日陰には、まだ雪がのこり、日光山の深さとそして柱一本々々にまで、ほどこされている精巧な彫刻美に一同は、あらためて驚嘆した。

（東照宮にて）

第一日目は、雨がパラつき、心配したが、すぐにあがって、日程通り、おまいりにあるいは、見物に、楽しくすごすことができた。

夜は北関東の名湯、鬼怒川温泉（三晃荘）にくつろぎ、旅のつかれを、いやして十八時三〇分より恒例の宴会が始まった。



（鬼怒川温泉三晃荘にて）

三晃荘の専属バンドをバックに数々のとび入り演芸が行なわれた。

そして、参加者には、景品が荻本幹事長より、手渡された。

翌二十八日は、雲一つない快晴にめぐまれ、竜頭の滝、華厳の滝と日光の名瀑をめぐり、地下一〇〇メートルまで、エレベーターで下りて、華厳の滝を見物、その雄大な姿には、目をみはるばかりであった。

正午から自由解散し、数時間を思い思いに中禅寺湖畔で、時のたつのも忘れて楽しくすごした。又、中禅寺ロープウェイからは、男体山と中禅寺湖あるいは、遠く白根山、金精峠まで、一望でき、そのながめは、実に素晴らしく、正にこのたびの旅行での圧巻というところ。帰りは、いろは坂を下りて、国鉄日光駅から車、列車は各線共不通になって、帰宅の足を奪われ、凡そ二時間、午後五時十七分、無事上野駅に帰着、折から学生ストが東京駅その他の主要駅を襲ったため電トンだ行楽のお土産となってしまった。

—佐藤正子記—

管工機械展

主催　丸吉工器㈱
場所　神奈川県相模原市丸吉工器㈱にて
自　四月十九日
至　四月二十日

相模原はいうまでもなく東京環状線上に於いての有数なる工場地帯であり、現在も尚、工場誘地の運動が盛んな関係上発展は申すまでもなく東京、横浜の大都市を抱えて必然的なものであろう。

今回、丸吉工器㈱さんの相模原支店内での管工機械展に我社古来からのお得意先である小野寺商店（足立区）の全面的なる協力を得て開催した。我社からはMTR＝80型タンピングランマー、MHC＝8型ハンドカッターの二機種を出品しランマーにおいては他社のショベルカー等で土を堀りおこしながら輾圧して行くというデモを行ない万雷の拍手を浴び、ハンドカッターに於ては新製品という目新しい機械であるという利点も手伝って多数の人を集め無事二日間を勤めさせて頂き毎日多数の人々に観覧されて、盛況のうちに幕を閉じる事が出来た。

我社としてはこの業界の今後に大いなる期待を寄せる次第です。

—田辺報—

三笠海の家開設

夏の海水浴シーズンを迎えて、わが社では厚生施設の一環として、今年も左記に海の家を開設しました。

場所　千葉県君津郡天羽町金谷二、四六六
小野精一氏宅、
電話〇四七八（六九）二五三七
（鋸山々麓、浜金谷海岸）

建物　木造二階建新築家屋（六畳四間、四、五畳一間、他に応接室、浴室、炊事場等完備）

期間　七月五日（土）より八月三十一日（日）まで

交通機関　京浜急行品川駅より久里浜駅を経てフェリーボートにて東京湾を横断金谷港まで、約二時間
国鉄秋葉原駅より急行にて浜金谷駅まで、約二時半

ご利用の方は必ず前以て本社総務部へお問合せ下さい。

三笠産業俳句

藤の茶屋花房にふれ客出入り　横浜　加藤　京女

欠勤して冷えもつ作業衣梅雨に着る　館林　長谷川金雄

病葉は車の窓にはりつきぬ　東京　森　昭男

キャベツ一枚一枚むかれ梅雨暑し　館林　武井　光彰

荒梅雨や植えたての苗起こし見る　東京　石井ひろし

人の計に雨あぢさいに降りそゝぐ　横浜　村松みね代

窓開けし湯殿の鏡花ざくろ　横浜　神吉　煙村

綺羅飾り春大安を娘等集う　館林　長谷川金雄

巨き刃の氷鋸夏に入る

飜り飜り夜の熱帯魚

（評）誰もが見る場景を、巧みに捉えて、これを軽く九文字におさめたところ、仲々見事なお腕前である。この僅かな九文字にめまぐるしい熱帯魚の動きが見えるのだから句も又不思議なものである。

選後吟

九州指宿ホテルに泊りて

夏朝のジャングル風呂は明る過ぎ

フラダンスライトも客の目も尻に

歌手となり西郷来るや海紅咲く

次号俳句募集

当季雑詠　1人　5句以内
用紙　ハガキ又は便箋縦書
締切　9月25日
社外からの投稿歓迎
評句には薄謝を呈す

忍法猿楽流 三笠丸

NO.115 BY I.NAGAI